次回は、R8年11月17日火曜日の発行です。

週間漁海況情報　2026年第43号

令和8年11月10日発行

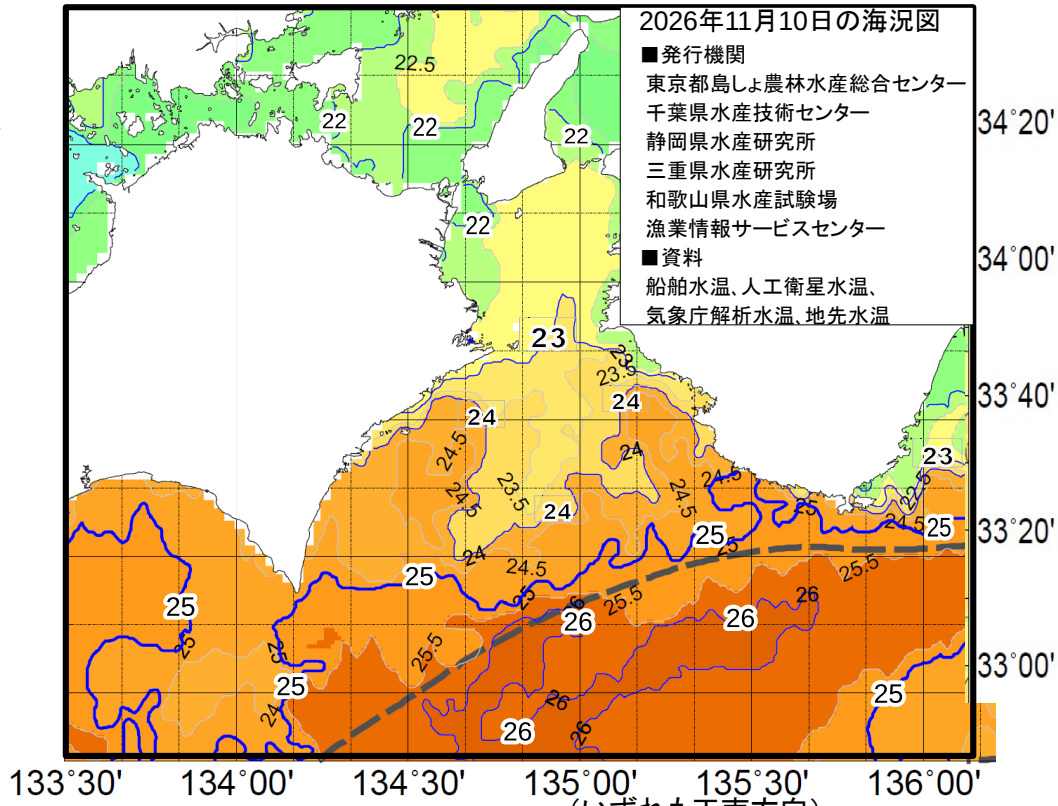
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖40マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は24～26℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で21～22、紀伊水道で22～23、海部沿岸で22～24℃台となっている。

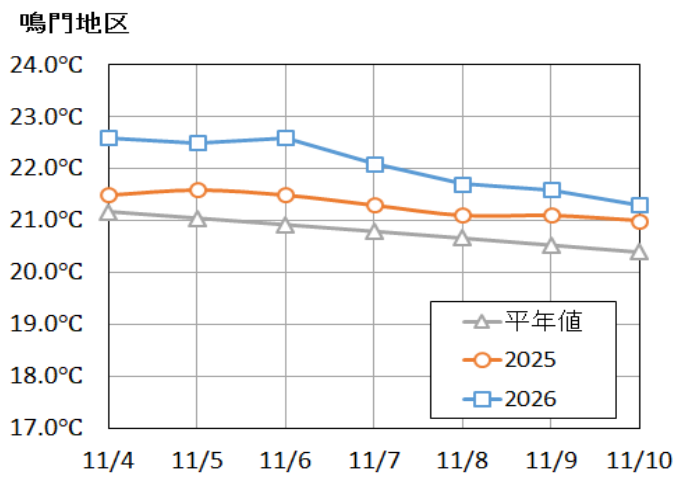


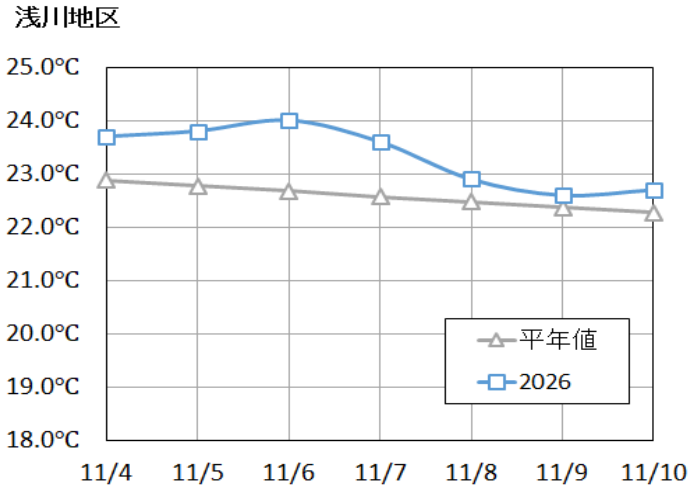
※黒潮の離接岸の表現　（いずれも正南方向）
　室戸岬沖　接岸：～25NM　やや離岸：25～45NM　離岸：45～65NM　著しく離岸：65NM～
　潮岬沖　　接岸：～26NM　やや離岸：26～56NM　離岸：56～86NM　著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温（11月4日～11月10日）

鳴門地区の水温は、22.6～21.3℃で「やや高め」で推移。浅川地区は、24.0～22.6℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、1.0～1.5℃だった。





※水温の高低　平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
　高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上
※平　年　値　1984年～2022年（鳴門）、2018年～2022年（浅川）の平滑平均値（いずれも日平均水温を使用）

3. 週間予報（11月11日～11月17日）

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」、浅川地区で「平年並み」で推移する見込み。

漁況（11月2日～11月8日）

１．紀伊水道（標本漁協：４）
船びき網では、シラスが減って3.6ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、サワラが増えて大主体に2.5ﾄﾝ水揚げされた。
底びき網では、クマエビが大きく増えて3.1ﾄﾝ、ハモが大きく増えて中主体に0.8ﾄﾝ、
コウイカが大きく増えて小主体に0.4ﾄﾝ、モンゴウイカが増えて0.3ﾄﾝ、
タチウオが大きく減って0.2ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、カンパチが増えて1.3ﾄﾝ、イサキが大きく増えて大主体に0.4ﾄﾝ、
マアジが増えて豆あじ級主体に0.2ﾄﾝ水揚げされた。

２．海部沿岸（標本漁協：４）
釣りでは、キハダが大きく減って0.3ﾄﾝ、カンパチが増えて0.2ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、アカムツが0.2ﾄﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数（のべ）	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	27	シラス	3,645	135		↘
	延縄	65	サワラ	2,518	39	大主体	↗
	底びき網	26	クマエビ	3,132	120		↗↗
		26	ハモ	771	30	中主体	↗↗
		26	コウイカ	449	17	小主体	↗↗
		26	モンゴウイカ	299	12		↗
		24	タチウオ	243	10		↘↘
	小型定置網	14	カンパチ	1,255	90		↗
		8	イサキ	353	44	大主体	↗↗
		12	マアジ	220	18	豆あじ級主体	↗
海部沿岸	釣り	6	キハダ	287	48		↘↘
		24	カンパチ	244	10		↗
	延縄	8	アカムツ	249	31		→

※ 前週比　200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘